スリーエム ジャパン株式会社

2025年 5月19日

モビリティの未来に関する意識調査で
日本人の約半数(51%)が電気自動車やハイブリッド車に関心ありとの結果

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：伊藤 誠）は、3M 社（本社：米国ミネソタ州、取締役会長兼最高経営責任者：ウィリアム・ブラウン）がグローバルで実施した、科学に対する意識、地球との関連性、社会への影響を継続的に把握することを目的とした調査「3M State of Science Insights（ステート・オブ・サイエンス・インサイト）」(以下、本調査)より明らかになった、モビリティの未来に関する日本人の意識について発表します。

また 3M は、4 月 23 日から 5 月 2 日まで開催された上海モーターショー2025（第 21 回上海国際自動車工業展覧会）に初出展し、「Beyond Wheels, Beyond Tomorrow 」をテーマに、製造からアフターマーケットまで、自動車産業向けの最新のイノベーションと材料科学ソリューションを展示しました。この展示のレポートは５月末に News Center などに掲載予定です。

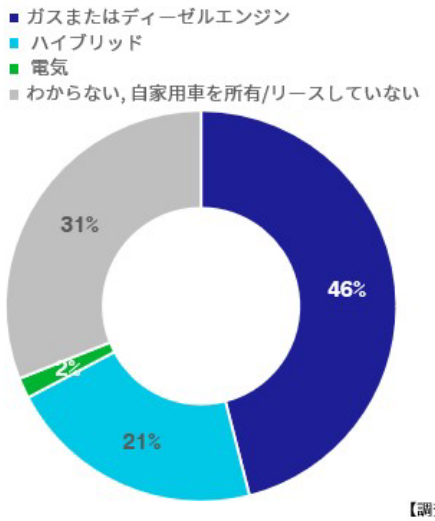
■日本人の多く(46%)がガソリンまたはディーゼルエンジンの車を所有する一方、約半数(51%)がハイブリッド車や電気自動車を運転したいと考えている

本調査の「あなたの自家用車にはどのような種類のエンジン/モーターが搭載されていますか」との質問に対し、ガスまたはディーゼルエンジンが 46%、ハイブリッドが 21%、電気が 2%でした。

一方で、「費用を考慮せずに選択する場合、次回、購入またはリースする車としては、次のうちどれを選びますか？」にはハイブリッドが 36%、電気が 15%となり、合わせて 51%と約半数の日本人がハイブリッド車や電気自動車を運転したいと考えていることがわかりました。

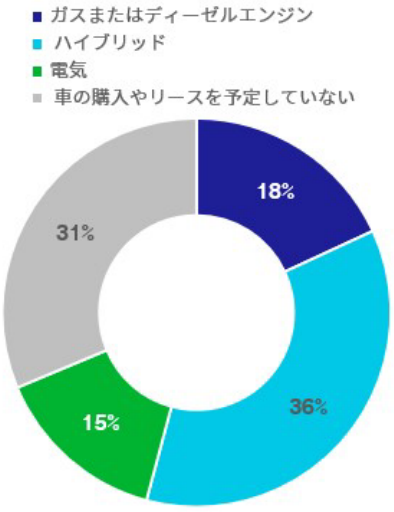
あなたの自家用車にはどのような種類のエンジン/モーターが搭載されていますか。複数の車両を所有/リースしている場合は、仕事やレジャーで主に利用している車両についてご回答ください。

自家用車のエンジン/モーターの種類



費用を考慮せずに選択する場合、次回、購入またはリースする車としては、次のうちどれを選びますか？

費用を考慮しない場合、購入またはリースしたい車



【調査対象】MMM16 , MMM17 -日本 1,097人

■モビリティの未来に関する、その他の日本の主な調査結果

- **EV 車は未来の交通手段としての関心が高い**
- **日本では交通手段として自家用車と公共交通機関が好まれるが、直面する最大の課題は交通渋滞**

3M は 3M 社の商標です。

© 3M 2025. All Rights Reserved

- **世代別では、65 歳以上のガスまたはディーゼルエンジンの所有率が 57%と他の世代よりも多い一方、新しい車を検討する際の環境への懸念が一番高い結果となった**
- **日本で新しい車を検討する際に重要視されるのはコスト、燃費効率、安全性、エネルギーアクセス。電気自動車を使用することへの懸念材料として最も高いのは「自動車の価格」**

本調査の気候変動に関する日本の調査結果の詳細やグラフデータは、「3M ストーリー：モビリティの未来に関する日本人の意識調査～日本人の半数以上の成人がハイブリッド車や電気自動車に関心を持っているが、価格が一番の懸念に～」をご覧ください。

【調査概要】

- 調査名称：3M State of Science Insights（3M ステート・オブ・サイエンス・インサイト）
- Morning Consult 社は、2024 年 11 月から 12 月にかけて、10 か国（米国、イギリス、カナダ、ドイツ、フランス、ブラジル、メキシコ、中国、日本、韓国）の一般人口サンプル 10,959 人を対象に本調査を実施しました。インタビューはオンラインで行われ、各市場の一般人口のターゲットサンプルに近づけるようにデータが重み付けされました。各対象国での完全な調査結果の誤差範囲は+/-3 パーセントポイントです。

【State of Science Insights（ステート・オブ・サイエンス・インサイト）とは】

本調査では 3M が科学に対するグローバルおよび各国における意識を調査することで、科学の発展を促し、イノベーションにおけるリーダーとして世界的な話題やトレンドに対応した科学に基づく高品質なソリューションを提供する企業としての立ち位置の確立にも寄与するものです。

【3M について】
3M(本社：米国ミネソタ州)は、サイエンス（科学）が明るい未来を創造すると信じています。人びと、アイデア、サイエンスの力を解き放つことによりさらなる可能性を模索し、世界中の社員がお客様、地域社会、そして地球の課題を解決するために取り組んでいます。人びとの暮らしを豊かにし、「これから」を創り出すための 3M の活動は 3M.com/news をご覧ください。
3M ジャパングループについては news.3mcompany.jp/news-center をご覧ください。

3M は 3M 社の商標です。
© 3M 2025. All Rights Reserved